

成果報告書

- ① 仙台市で、5日間。2015年3月18日に閉会した国連防災会議は並行して350の市民参加型フォーラムが開かれ、国内外から延べ約15万人[報道による]が参加し、防災の在り方を見つめ直す議論が、活発に交わされた。
- ② 私たち6名は、最終日18日、仙台市男女共同参画推進センターのエル・パーク仙台6階にて開催された「パブリックフォーラム」に参加した。
- ③ テーマは、「女性の力で 変革を」…男女共同参画と災害リスク削減…であった。男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表の堂本暁子先生が、基調提案され、様々な提言のまとめもされた。
- ④ 終始 世界の女性団体と連携し、国際的に通用する リーダーシップトレーニングプログラムを提示し、議論を深めた。
- ⑤ 安全で災害に強い地域社会の構築を目指しての議論が沸騰し、今更の如くジェンダーイコリティの重要性を学んだ。
- ⑥ とりわけ 意思決定の場に、女性がリーダーとして防災に関与できるよう、トレーニングが必要であることを理解した。
- ⑦ 東日本大震災の被害三県からは、現地での取り組み事例が紹介され、切実な思いにかられた。
- ⑧ 当会津若松市においても、「防災と男女共同参画」について横断的にあらゆる立場の方々と連携して、「行動・アクション」へと進めていかねばならないと痛感した。
- ⑨ 最後に、「地球規模で 考え、地域で 行動する」の信念を更に強め、今後の活動のエネルギー源をいただいた思いである。

本当にありがとうございました。

平成 27 年 3 月 22 日

会津若松市男女共同参画推進条例研究会

代 表 畑 洋 子

収支決算書

「第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム」に参加研修

◆収入の部

- ・市からの補助金 16,200円
- ・参加者負担額 16,200円

計32,400円

◆支出の部

- ・高速バス料金 32,400円（若松⇔仙台往復 5,400円×6名分）

計32,400円